

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成18年9月28日(2006.9.28)

【公開番号】特開2005-62754(P2005-62754A)
 【公開日】平成17年3月10日(2005.3.10)
 【年通号数】公開・登録公報2005-010
 【出願番号】特願2003-296302(P2003-296302)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 15/01 (2006.01)

G 0 3 G 21/00 (2006.01)

G 0 3 G 21/14 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/01 Y

G 0 3 G 21/00 3 7 0

G 0 3 G 21/00 3 7 2

【手続補正書】

【提出日】平成18年8月11日(2006.8.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

像を担持するための複数の回転体と、
 前記複数の回転体を回転駆動する複数のモータと、
 前記複数の回転体の位相を検知する位相検知手段と、
 前記複数の回転体の位相差が所定関係になるように調整する位相調整手段とを備え、
画像形成終了後に回転中の各モータを停止させる場合に、前記位相調整手段による調整
 を実行し、該調整が完了してから各モータを停止させることを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

各モータを停止させる場合とは別に、位置ずれ補正または濃度補正を実行する前に、前
 記位相調整手段による調整を実行することを特徴とする請求項1記載の画像形成装置。

【請求項3】

各モータを停止させる場合とは別に、前記回転体のクリーニングを実行中に前記位相調
 整手段による調整を実行することを特徴とする請求項1に記載の画像形成装置。

【請求項4】

前記複数のモータを停止させる場合に、各モータの回転速度を一時的に低速に切り替え
 た後に、各モータを停止させることを特徴とする請求項1に記載の画像形成装置。

【請求項5】

前記位相差検知手段の検知結果に基づいて、前記回転体の位相を調整する必要があるか
 否か判定する判定手段を備え、

画像形成装置が印字動作を行う場合、各モータを起動した後に回転体の位相調整を実行
 する必要があるか否かの判定を行い、位相調整の必要があると判定された場合、前記位相
 調整手段による調整を実行し、位相調整の必要がないと判定された場合、印字シーケンス
 を実行することを特徴とする請求項1に記載の画像形成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

本発明の画像形成装置は、像を担持するための複数の回転体と、前記複数の回転体を回転駆動する複数のモータと、前記複数の回転体の位相を検知する位相検知手段と、前記複数の回転体の位相差が所定関係になるように調整する位相調整手段とを備え、画像形成終了後に回転中の各モータを停止させる場合に、前記位相調整手段による調整を実行し、該調整が完了してから各モータを停止させることを特徴とする。